

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年12月28日

保護者アンケート回収率 72.2%
保護者の評価欄は、回収分の占める割合です。

事業所名：Dream

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員の10名を前半・後半の2グループに分けて活動をしています。さらに活動内容によっては、部屋を分けて活動を行っています。	・はい…88.5% 0.0% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…11.5%	定員10名が合同で活動をする際には、普段の療育スペース以外の場所の確保など工夫することでスペースの確保に努めています。
	2 職員の適切な配置	基準に基づいた人員配置を行っています。また、児童指導員加配加算、強度行動障害養成研修受講した指導員の配置等、さまざまな特性の児童へ対応できるように支援しています。	・はい…73.1% 0.0% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…26.9%	今後も職員の適切な配置はもちろん、職員それぞれのスキルアップを行いながら支援を行います
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚的支援を取り入れながら、活動を進めるようにしています。また、職員・児童共に手話講座の受講し、新しいコミュニケーション手段の体験をしました。	・はい…73.1% 7.7% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…19.2%	子ども達の様子を観察しながら、分かりやすい構造化や情報伝達方法を追及していきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	サービス提供前には、業務チェックリストを活用しながら、漏れのないように清掃・消毒を行っています。	・はい…84.6% 3.8% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…11.5%	今後も引き続き、環境整備や感染症対策心がけ、清潔で心地よい生活空間の確保に努めていきます。また、子ども達と共に感染症対策や衛生行為について学ぶ機会も設けていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々、ミーティングと振り返りを行い、そのことを日報や個別記録に記載しています。それを基に毎月のスタッフ会議やケース会議で話し合い業務改善に繋げています。	/		ひとりひとりの職員に役割分担し、業務改善を行いながら会議の充実に努め、職員間で積極的な意見が出るような環境づくりに努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同法人の事業所で行われた事業所評価研修を参考に業務改善を行っています。	/		今後は、第三者評価を受け、業務改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年間計画を立てて、内部研修を毎月実施しています。また、外部研修についても担当者を中心に情報収集を行い、各職員に情報提供を行い参加を募っています。勤務内で参加できるように配慮し、職員の質の向上に努めています。	/		事業所内研修は、引き続き継続して行っていきます。また、外部研修に関してもスタッフ会議等を利用して、事業所内で共有をしながら支援の質の向上に繋げていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回面談(アセスメント)やモニタリング面談では、保護者や児童の思いを聞き入れ、課題になる部分を分析し、放課後等デイサービス計画作成を行っています。	/		今後もアセスメントとモニタリングを行い、保護者と児童のニーズを確認しながら、日々の支援の中から見えてきた課題を支援者で分析し、放課後等デイサービス計画の作成をしていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントやモニタリングを進める中で見えてくる子どもの状況を協議し、個別では丁寧な関わりと子どもの気持ちに寄り添い理解に繋がっています。そのことを踏まえ、集団活動の中でSSTを中心に定着していくような計画作成を行っています。	・はい…100.0% 0.0% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…0.0%	今後も継続しながら、子どもの状況に合わせた個別活動や集団活動の提供を行います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	サービス利用計画に基づく、サービス提供前のミーティングとサービス後の振り返りを充実させ、また、定例のスタッフ会議やケース会議を行い検討しています。	/		今後もより良い支援の充実を目指して、指導員同士が意見を出し合い検討を続けていきます。
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保護者の同意をいただいたサービス計画を個別記録に添付し、計画内容を確認しながら支援出来るようにしています。	・はい…88.5% 3.8% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…7.7%	今後も保護者面談の報告も交えながらサービス利用計画に沿い、統一した支援になるように努めていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	指導員リーダーを中心に季節の行事などに触れ、指導員の得意分野を活かしながら役割分担を行い進めています。スタッフ会議で計画案を全体で確認・調整を行い企画書を制作し進めています。振り返りについても報告書を作成することでまとめ、次の活動に繋がっています。	/		年間計画を立てながら、指導員リーダーを中心に指導員全員で役割分担を行い、
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	コロナ禍ということもあり、長期休暇中も平日と同様のプログラムで営業を行っています。ただし、家庭状況に配慮しながら利用時間帯の変更(前半・後半の入れ替え)などに応じた支援を行っています。コロナの流行状況を見ながら、少しずつ長期休暇中の行事など(外出や合同行事)も再開しています。	・はい…26.9% 11.5% ・いいえ…0.0%	・どちらともいえない… ・わからない…15.4%	新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、子ども達と共に感染症対策に留意した行動を考え、さまざまな経験を増やすことが出来るように努めていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	基本的には、設定された時間帯の活動を行っています。集団活動などの場面では、子ども達の意見を取り入れながら進めるように心がけています。	/		通常のプログラムを基本にししながら、子ども達のニーズや得意なことに注目しながら達成感を味わえるプログラム作りを考えていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前には、勤務職員が集まりその日の活動内容や役割分担、注意点などを確認するように指導員リーダーを中心にミーティングを行っています。	/		職員間の情報共有を徹底し、業務にあたる事が出来るようにしていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、振り返りの時間を持ち、指導員リーダーを中心に、活動の振り返りやヒヤリハット、明日以降に気を付けて支援する点等の確認を行い、その日の日報に記載し、勤務外職員も確認出来るようにしています。	/		気が付いたことを言い合えるような環境づくりに努め、

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務終了後の振り返りをその日の指導員全員で行い、気になる部分を再確認でき、記録に記載しています。支援の検証や改善点については、スタッフ会議などでも取り上げて検討するようにしています。		さまざまな場面で子ども達の様子を観察し、気付いたことを話し合えるような職員関係が保てるようにしていきます。
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月ごとに個別記録表(フローシート)を基にまとめた内容を保護者に説明しています。その際に、ご家庭や学校での様子を伺い、ご本人の成長や課題、ニーズについての聞き取りを行い、計画に盛り込んでいます。		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを定期的に行っていきます。また、期間内でも児童の状況の変化などによって支援内容の変更が必要な場合には随時見直しをしていきます。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	保護者・相談支援専門員・関連事業所・学校等と連携し、統一した支援が行われるようにサービス担当者会議には積極的に参加し、知りえた情報を事業所内に持ち替えるように努力しています。		今後も継続して、サービス担当者会議には参加し、児童、保護者の状況を把握し、学校や相談専門員・関連事業所などと連携しながら統一した支援が出来るようにしていきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有			
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者等の要望に応じて積極的に情報提供する体制を整えています。		ニーズに応じて積極的に対応していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援協議会等に参加し、関係機関との連携に努めています。研修に関しては、情報収集に努め、職員間で研修情報共有し多くの職員が受講できる体制を整えています。		継続して自立支援協議会への参加し関係機関との連携を取り、研修情報の収集と職員への情報提供に努めます。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障害のない子供との交流に関しては、障害特性の享受が出来ていない利用者や家族が通所を公表していない場合もあるため、放課後児童クラブや児童館との交流するまでにはまだ至っていません。		今後は保護者や児童のニーズを確認しながら検討していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍の為、地域の方との交流や招待などこれまで取り組もうとしていたことが難しい状況が続いています。地域の清掃活動など自分たちが出来ることで地域との繋がりを大切にしています。また、SDGs活動としてフードドライブ活動にも参加しました。	・はい…30.8% 15.4% ・いいえ…3.8% 46.2%無回答…3.8% ・どちらともいえな… ・わからない…	地域に開かれた事業所となるように積極的に地域行事等に参加できるようにしていきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容や料金負担額については、重要事項説明書に記載し、契約時に読み合わせを行い説明しています。また、行事等で自己負担が発生する場合は、事前に連絡するようになっています。その他、保護者からの問い合わせについては、その都度丁寧に対応するように心がけています。年度初めには、保護者会を開催し、一年のまとめをした資料を制作し保護者に配布しています。	・はい…96.2% 3.8% ・いいえ…0% ・どちらともいえない… ・わからない…0%	今後も継続して丁寧な対応を行っていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6か月ごとに行っているモニタリング・支援計画面談時に説明を行っています。	・はい…96.2% 3.8% ・いいえ…0% ・どちらともいえない… ・わからない…0%	今後も継続して丁寧な対応を行っていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	モニタリング時や日々の送迎・連絡帳等、保護者の子育ての悩みや困りごとなどをお聞きし、整理しながら一緒に考えています。事業所での対応などもお伝えしたり、場合によっては、本人も交えて解決策を相談するようなことも必要の様です。	・はい…61.5% 19.2% ・いいえ…0% ・どちらともいえない… ・わからない…19.2%	今後も継続して実施していきます。また、学習会も計画し、保護者も職員も共にスキルアップし児童を支える力が身につくようにしていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の様子は、連絡帳や送迎時にお伝えするように心がけています。モニタリングの場面で家庭や学校の様子もお聞きした上で、本児の様子を再確認しています。気になることや変更に関しては、随時、電話連絡や事業所で開設しているラインを利用し共有することでタイムラグを少なくしています。	・はい…88.5% 11.5% ・いいえ…0% ・どちらともいえない… ・わからない…0%	今後も継続して保護者と共通理解できるように取り組んでいきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳、面談の機会に実施しています。相談事項など保護者からの情報を全職員で共有できるように振り返り時に報告し、適切な対応を相談しています。また、必要に応じて学校や相談支援専門員、関連事業所と連携し対応できるようにしています。	・はい…96.2% 3.8% ・いいえ…0% ・どちらともいえない… ・わからない…0%	今後も保護者の思いに寄り添い丁寧な対応に努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は、7月に保護者会兼学習会(保護者向け)を行いました。保護者同士の連携支援には至っていません。	・はい…76.9% ・いいえ3.8% ・わからない…15.4%	・どちらともいえない… ・わからない…15.4%	今後も新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら、保護者同士の連携が深められるよう、開催方法を模索し支援していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談マニュアルを作成し、迅速かつ適切に対応出来るようにしています。契約時には当該施設以外にも行政機関を含めた苦情窓口を保護者にお伝えしています。	・はい…65.4% ・いいえ3.8% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…30.8%	今後も対応体制を整備し、契約時だけでなく保護者会等で周知出来るようにしていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言語支援だけではなく絵カード・ジェスチャー・筆談など視覚的に理解しやすい方法で意思の疎通や伝達を行っています。今年度は、子ども達・職員共に手話口座を受講しました。保護者への連絡は、連絡帳や月刊のお便り及び必要に応じた電話対応、ラインなどで情報提供を行っています。	・はい…80.8% ・いいえ15.4% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…3.8%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的にはICT化も視野に入れ検討していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用日には連絡帳において活動したことを報告し、毎月1回のお便りを発行で、活動内容の報告や今後の行事予定等必要書類などについても掲載を行い情報発信を行っています。	・はい…88.5% ・いいえ0% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…11.5%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的にはICT化も視野に入れ検討していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に重要事項説明書の中で確認しています。また、個別支援計画の中にも記載し、確認を行っています。職員にも周知しています。	・はい…88.5% ・いいえ0% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…11.5%	今後も個人情報の取扱いには、十分に配慮して対応していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル策定は行い、事業所に設置しています。また職員研修の場なども設け、周知を行っています。保護者への発信については「子どもたちの安心・安全のための安全マニュアルご家庭・事業所相互掲示板」を全家庭に配布し、ご家庭の見るところに掲示していただき確認しながら事業所利用意をいただくようにおねがいをしています。	・はい…88.5% ・いいえ11.5% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…%	今後も継続して周知徹底に取り組んでいきます。また、社会情勢に応じ都度マニュアルを見直し、周知出来るよう取り組んでいきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1月には地震、8・9・11月には、火災・防犯・台風に関する訓練や研修を実施し、さまざまな災害に対する理解や対策に	・はい…84.6% ・いいえ3.8% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…11.5%	今後も様々な災害に対応出来るよう、多様な災害を想定し訓練を実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内外での研修に積極的に参加できるようにしています。日々の振り返り等、職員間で意見交換の対応に関しても全職員で振り返りながら意見を出し合うようにしています。			今後も継続して虐待防止研修を実施・参加し、全職員で意識をもって適切な対応が出来るよう取り組んでいきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議等で事例を検討し、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に十分に説明をし了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載するようにしています。			今後も身体拘束の必要性を慎重にケース会議で検討・見直しを行いながら丁寧に取り組んでいきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時や保護者との面談などで定期的にアレルギー他の有無・薬の飲み合わせ・対応策等確認しています。また保護者に確認の上、処方箋のコピーを頂くなど職員に周知しています。アナフィラキシーショックを起こした時の対応についてもエビペンの使い方の検証しています。			今後も保護者と情報共有しながら、個別の緊急対応マニュアルを更新するなど、安心して通所できるよう対応していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの事例があった場合には振り返りやミーティングに職員間で共有し、改善策の確認を行い、事故に繋がらないように気を付けています。ヒヤリハット事例は、事例集にまとめてファイリングしています。年間通して集計し検証するようにしています			今後も安心安全に通所できるよう、ヒヤリハット集を更新し取り組んでいきます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	今年度は、SDGsを意識してさまざまな活動を展開してきました。また、コロナ禍ではあるもの子ども達と対策を考え、保護者のご理解を得ながら、従来の活動(電車外出や合同行事等)を少し取り戻し始めています。	・はい…92.3% ・いいえ7.7% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…0%	子ども達のニーズや強みを活かしながらSSTなど課題にも取り組めるようなプログラム作りを行っていきます。子ども達の意見を取り入れ、指導員と計画を進めることで充実した活動になるようにしていきます。
	2 事業の支援に満足しているか	日々の活動の振り返りやスタッフ会議・ケース会議を繰り返す中で支援内容や子ども達との関わり方を確認し合い、また、事業所内外での研修に参加し、支援力向上に努めています。	・はい…96.2% ・いいえ0% ・わからない…0%	・どちらともいえない… ・わからない…3.8%	子ども達の意見や行動に注目し、寄り添いながらスモールステップの成長を認めていきます。